

# 福生三中だより

令和5年12月25日発行 No.10

## 学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

## 2学期の終わりに

校長 植村 多岐

残暑が続く中で始まった2学期も季節が移り変わり、本日、師走の寒さが身に染みる体育館で終業式を行いました。2学期を含めこの1年間を無事終えることが出来き、保護者の皆様・地域の皆様のおかげと心より感謝しております。しかし、長い1年間を考えますと、各ご家庭では、「決して平坦な1年ではなかった」と言わざるを得ない場面もあったのではないのでしょうか。特に3年生にとっては、進路に向けて親子で話し合い、中には意見の食い違いもあり、合格の日までまさに、心穏やかとは言えない心境の人もいるのかもしれませんが。子育てとは、難しいものです。私も2人の娘をもつ親として本当にそう思います。2人とも同じように育てたつもりでしたが、性格も大きく違い状況は全く違いました。子育てに公式はなくその都度悩みます。もしかしたら親こそが子育てを通して多くを学び、本当の親へと一歩一歩成長するのも知れません。そこで最後にひとつ詩をご紹介します、令和5年を締めくくりたいと思います。

### 『子は親の鏡』 ドロシー・ロー・ノルト作 著書『子どもが育つ魔法の言葉』より

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも、人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは、「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



『子は親の鏡』は、大変厳しい言葉だと思います。私自身、子を生徒に、親を教師に、家庭を学校に置き換えて自戒の意味も込めて読み返しています。まさに『生徒は教師の鏡』これもまた隠し切れない真実です。2学期の終わりに改めてこの詩の意味をかみしめ、保護者と手を取り合って、教育活動を進めなければならないと考えています。

それでは、令和5年も後わずかとなりました。ご家族でよいお年をお迎えください。新年も皆様にとって良き年となりますよう教職員一同、心よりお祈り申し上げます。

## 善行表彰

福生市青少年問題協議会善行少年表彰 3年2組 桐野 耀貴樂さん

## 意見発表

第30回福生市青少年の意見発表会

3年1組 高橋 らんさん 3年2組 島田 航さん

## 野球部

第8ブロック野球冬季大会 第3位

おめでとう!

## 薬物乱用防止教室

11月30日(木)の6校時、2年生は東京福生ライオンズクラブの皆様を講師にお招きし薬物乱用防止教室を開催しました。



## 四地区水・防災訓練への参加

12月2日(土)明神下公園で行われた水・防災訓練に有志生徒42名と教職員で参加しました。生徒会役員は、放送や開閉会の補助、仕分け等を行いました。



## 落ち葉掃き

11月21日(火)、12月6日(水)落ち葉掃きがあり、2日間合計110名以上の生徒と、CS委員の方に御参加いただきました。校内とせせらぎ通りに分かれて、作業し、とてもきれいになりました。

